

Z世代のSDG s に対する意識調査

2021年9月

株式会社 プリミティブ・ドライブ

問い合わせ先

株式会社プリミティブ・ドライブ リサーチ事業部 （担当：田中）

TEL：092-735-1077

E-MAIL：info@primitive-drive.co.jp

データ公開

本レポートは、株式会社プリミティブ・ドライブのホームページから入手いただけます。

（株式会社プリミティブ・ドライブ ホームページ <http://www.primitive-drive.co.jp>）

目次

I. 調査設計	1
II. まとめ	2
III. 結果から得られたポイント	3
IV. 調査結果	6
標本属性	6
1. SDGsに対する認知・関心	7
2. 17目標に対する関心	8
3. 17目標に対する取り組み	10
4. 17目標に対する意識	12
5. 各ターゲットの実現可能性と活動主体について	14
V. 参考	23

I . 調査設計

調査背景

SDGs（Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標）とは、2015年9月に国連サミットで採択された2030年までに達成するために掲げられた目標です。
また、Z世代とは1990年代後半から2000年代終盤に生まれ、その時点でインターネットが利用可能であった世代のことを指します。Z世代、SDGsともに今後の社会のカギを握るとされています。

調査目的

今回の調査では、Z世代の方々がSDGsに対してどのような考えを持っているのか、SDGsをどのように感じ理解しているのかを明らかにするために調査を行いました。

※本調査では、20代前半、後半との比較のため15～19歳をZ世代と定義します。

調査対象者

東京都または福岡県在住の10代～20代の男女 300 サンプル（括弧内はZ世代人数）

	東京都	福岡県	合計
男性	75(27)	75(34)	150(61)
女性	75(29)	75(32)	150(61)
合計	150(56)	150(66)	300(122)

調査手法

インターネット調査

調査時期

2021年8月3日（火）～12日（木）、25日（水）～31日（火）

調査実施主体

株式会社プリミティブ・ドライブ

Ⅱ．まとめ

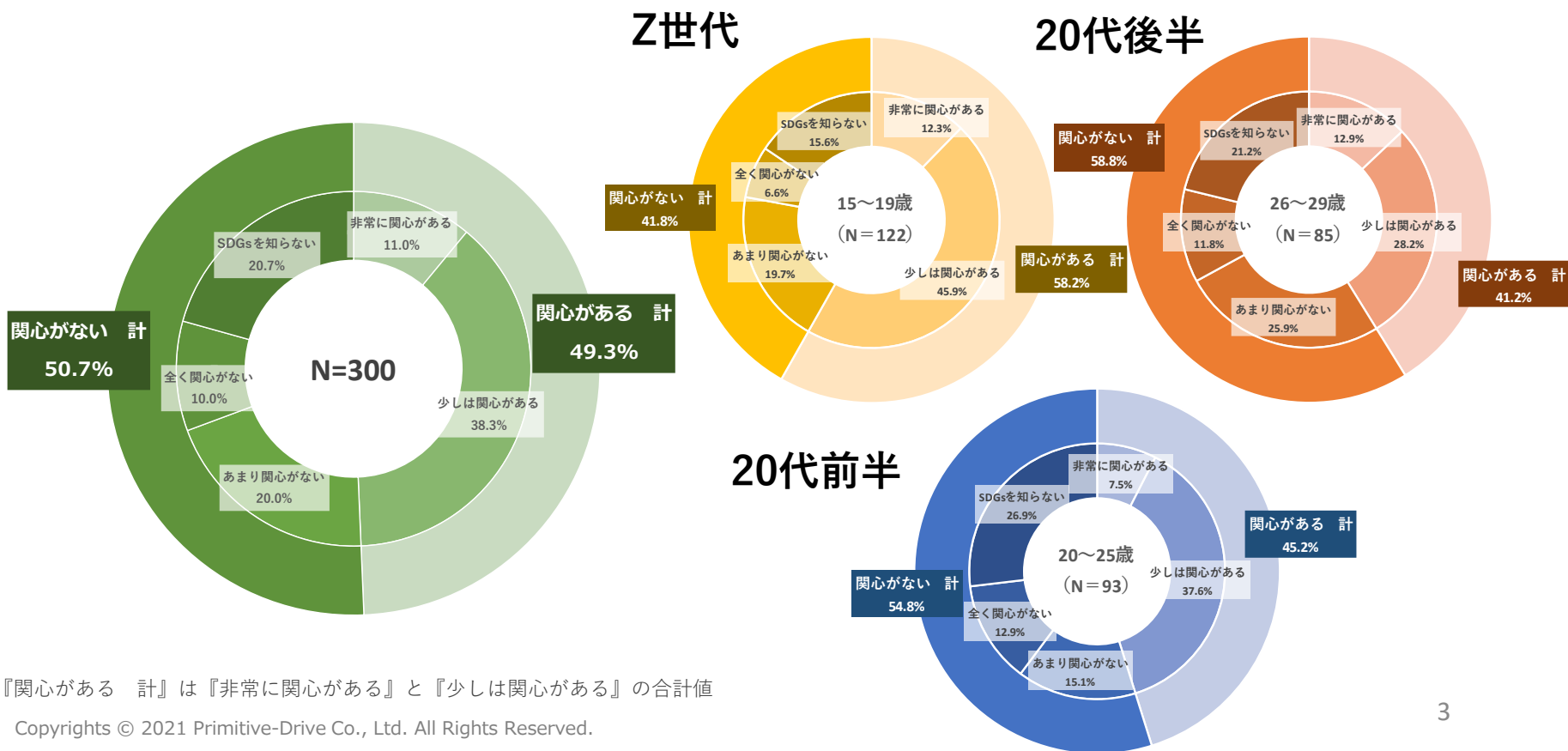
- 10代、20代の若者はSDGsに対する関心は高い。
その中でも**Z世代（15～19歳）は特に関心が高く、**
20代前半、20代後半の順で低くなっていく。
- 男女別に比較すると**女性の方がSDGsに対する関心、意識は高い。**
- SDGsに関心があったとしても、自ら率先して**行動に移せていない人は多い。**
- Z世代は、「貧困をなくそう」、「ジェンダー平等を実現しよう」等、**人に関する項目に興味・関心を持つ傾向がある。**

Ⅲ. 結果から得られたポイント - 1

▶ 認知・関心 「SDGs」への認知・関心度の違い

「SDGs」への認知・関心については、**Z世代、20代の若者は半数近く**の**49.3%**が**SDGs**に対して**関心を持**っており、その中でも、**Z世代の6割近くが関心を持っている**。一方、20代前半と20代後半の2グループの「関心がある 計」は**40%台**に留まっており、「少しは関心がある」の部分でZ世代と大きな差がついている。

◆ SDGsについてどの程度関心があるか



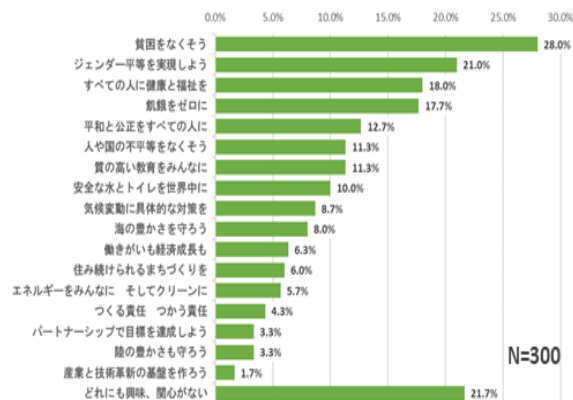
Ⅲ. 結果から得られたポイント - 2

▶ 17目標に対する意識

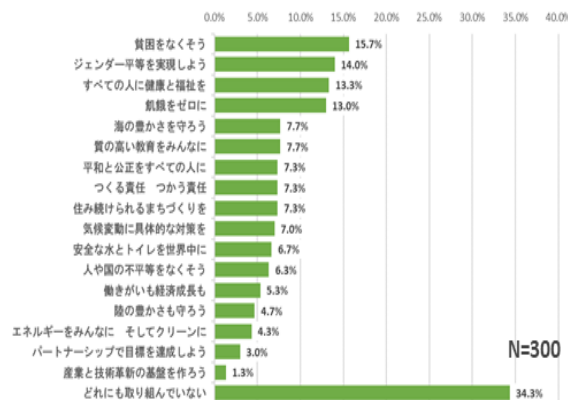
SDGsの17目標に対して、どの目標に関心があるか、どの目標に取り組んでいるか、商品やサービスを買ってでも貢献したい目標はどれかという問いにより、「**貧困をなくそう**」、「**ジェンダー平等を実現しよう**」、「**すべての人に健康と福祉を**」、「**飢餓をゼロに**」に関心、取り組み、貢献意欲があるという事が明らかになった。これらの目標は共通して人に関するものであり、Z世代や若者がどこに着眼点を置いているかが興味深い。

◆SDGs17目標に対しての関心、取り組み、貢献意欲

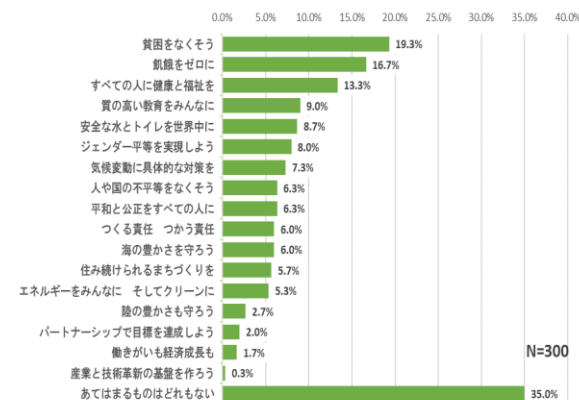
Q4. 関心のある目標



Q5. 取り組んでいる目標



Q6. お金を払ってでも貢献したい目標



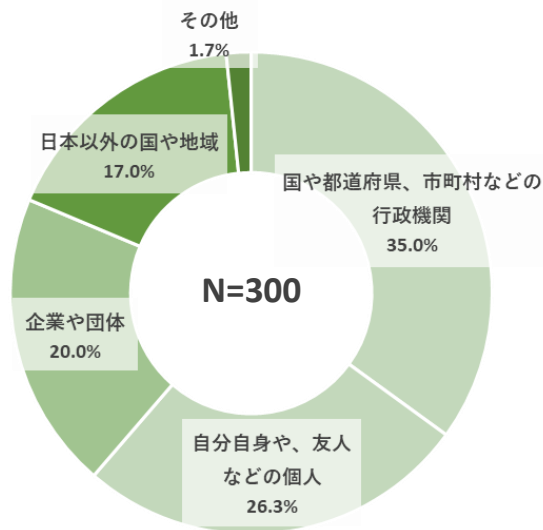
Ⅲ．結果から得られたポイント - 3

▶ 誰が活動主体になるべきか 「行政機関」に対する率先した行動への期待

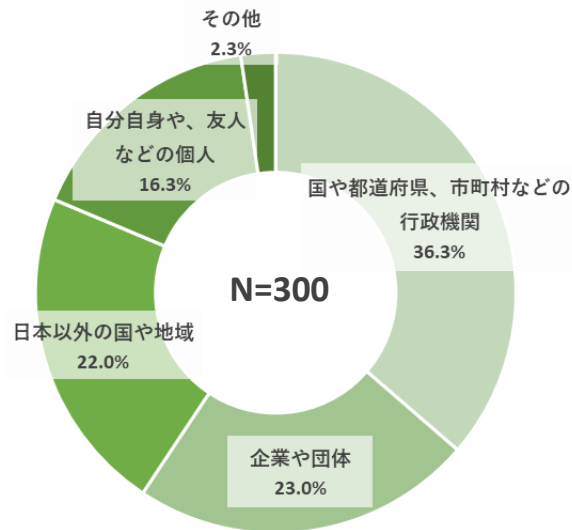
前回調査（2020年12月実施）により「気候変動に具体的な対策を」、「貧困をなくそう」、「すべての人に健康と福祉を」の3目標に対する関心度が高いことが分かった。そこで、今回はZ世代、20代の若者に対してこの目標を達成するために、誰が活動主体となるべきかを聞いてみると、**3つの目標すべてにおいて「国や都道府県、市町村などの行政機関」がトップ**であった。「気候変動に具体的な対策を」、「すべての人に健康と福祉を」の2目標では「自分自身や、友人などの個人」の割合も高くなっている。

◆ それぞれの目標について、誰が活動主体になるべきか

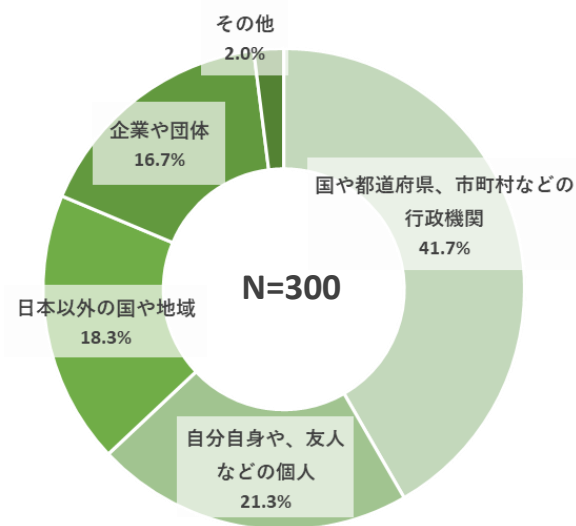
気候変動に具体的な対策を



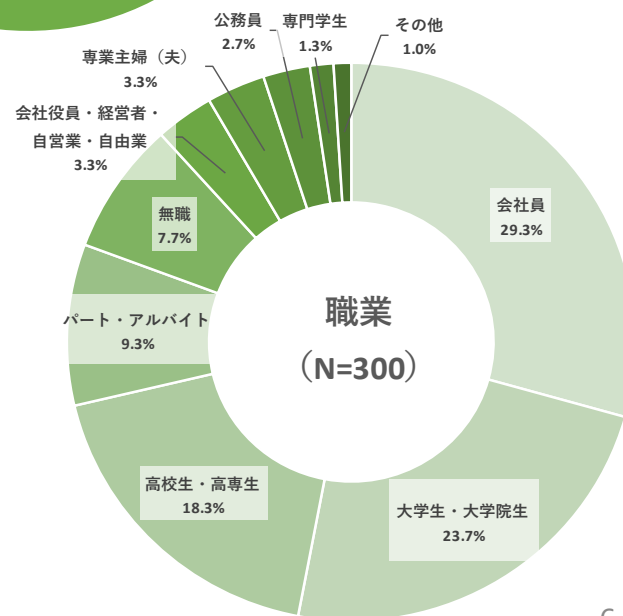
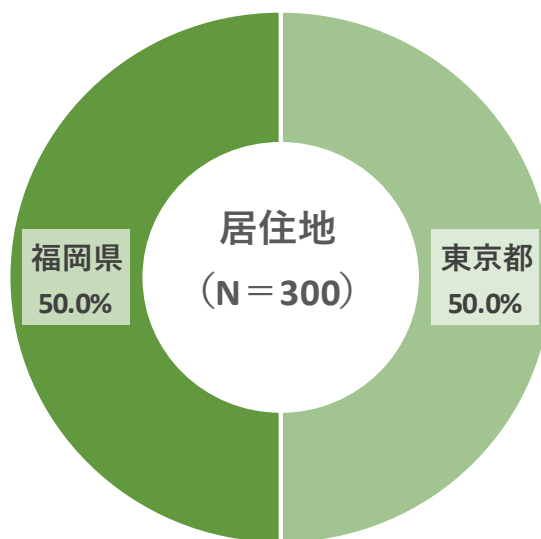
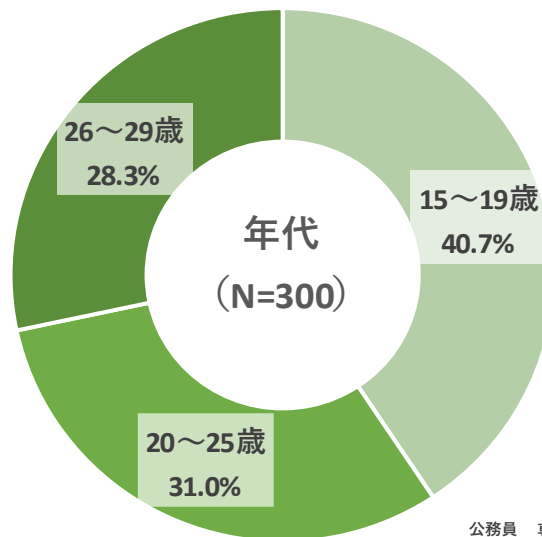
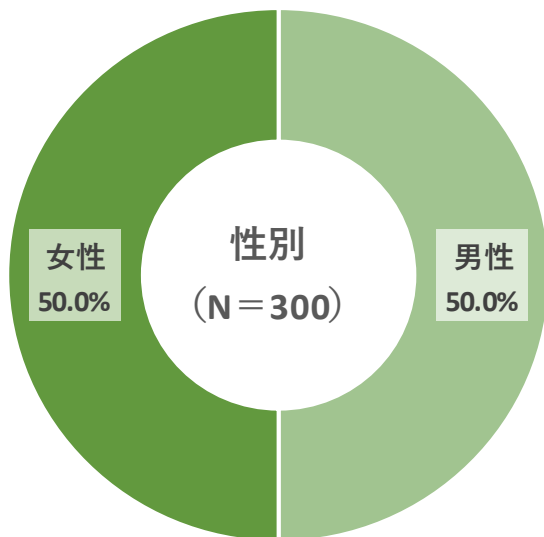
貧困をなくそう



すべての人に健康と福祉を



IV. 調査結果：標本属性



IV. 調査結果：1.SDGs に対する認知・関心

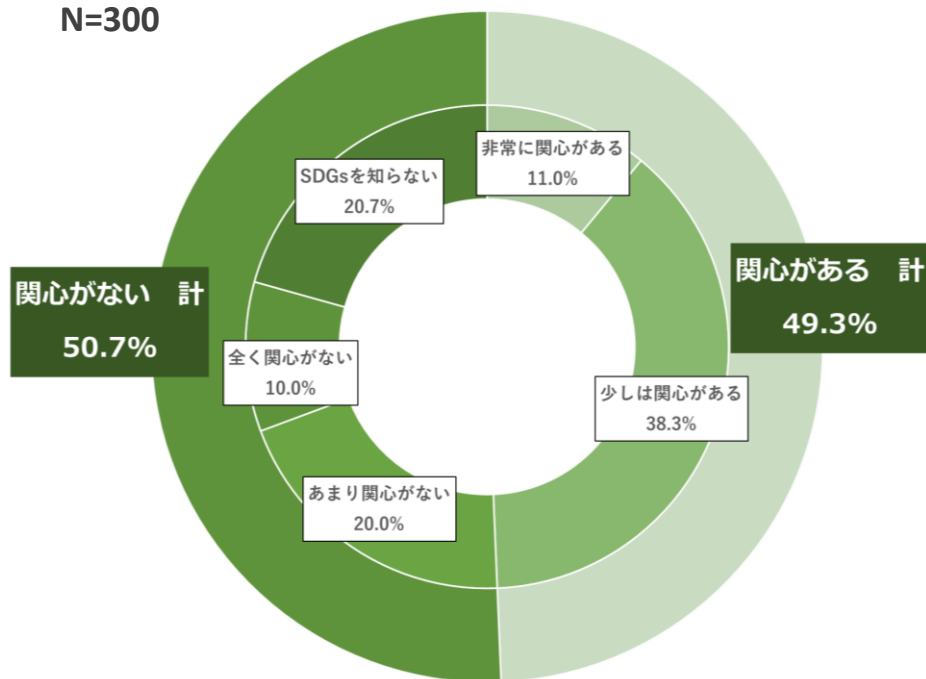
Q. あなたはSDGsにどの程度関心がありますか。（回答は1つ）

- 【「SDGs」に対する関心】については、「少しは関心がある」と答えた人が最も多く（38.3%）、次いで「SDGsを知らない」（20.7%）、「あまり関心がない」（20.0%）と続き、SDGsについて『関心がある 計』と答えた人は約5割であり、約半数がSDGsについて何らかの興味を持っているという結果となっている。
- Z世代に着目すると「関心がある 計」は58.2%となっており、20代前半、20代後半と比較してより高い。
- Z世代を地域別に比較すると、「非常に関心がある」と答えた人は福岡県が6.3ポイント高かったが、一方で「SDGsを知らない」と答えた人は福岡県が5.7ポイントほど高いという結果になり、SDGs認知・関心度について福岡県での二極化がみられる。

2021年8月実施

対象：東京都、福岡県在住の15歳～29歳の男女

N=300



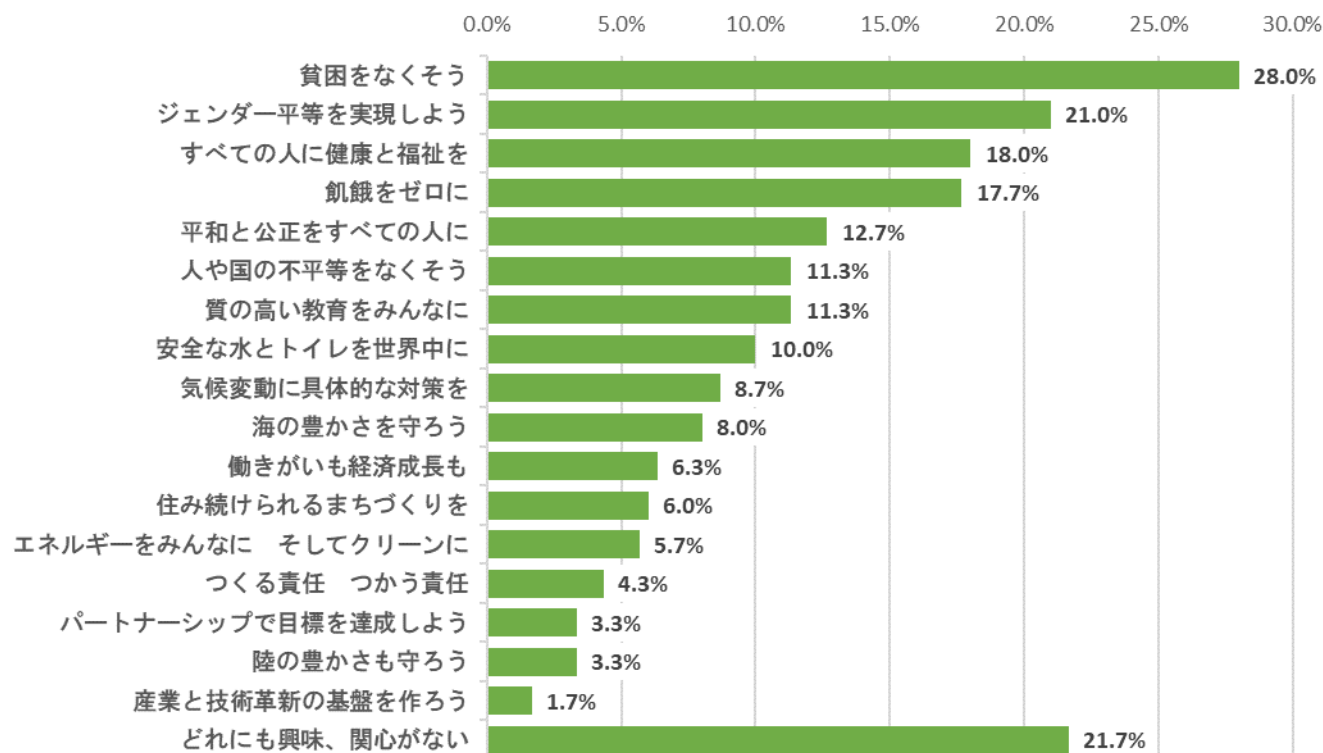
	合計（n）	関心がある 計	非常に関心がある	少しは関心がある	関心がない 計	あまり関心がない	全く関心がない	SDGsを知らない
全体	300	49.3%	11.0%	38.3%	50.7%	20.0%	10.0%	20.7%
性別								
男性	150	48.0%	11.3%	36.7%	52.0%	21.3%	10.7%	20.0%
女性	150	50.7%	10.7%	40.0%	49.3%	18.7%	9.3%	21.3%
年代別								
15～19歳	122	58.2%	12.3%	45.9%	41.8%	19.7%	6.6%	15.6%
20～25歳	93	45.2%	7.5%	37.6%	54.8%	15.1%	12.9%	26.9%
26～29歳	85	41.2%	12.9%	28.2%	58.8%	25.9%	11.8%	21.2%
地域別								
東京都	150	50.0%	8.7%	41.3%	50.0%	20.7%	8.0%	21.3%
福岡県	150	48.7%	13.3%	35.3%	51.3%	19.3%	12.0%	20.0%
職業別								
公務員	8	3	1	2	5	4	0	1
会社員	88	46.6%	8.0%	38.6%	53.4%	23.9%	10.2%	19.3%
会社役員・経営者・自営業・自由業	10	30.0%	10.0%	20.0%	70.0%	40.0%	0.0%	30.0%
パート・アルバイト	28	21.4%	3.6%	17.9%	78.6%	14.3%	21.4%	42.9%
高校生・高専生	55	56.4%	16.4%	40.0%	43.6%	21.8%	7.3%	14.5%
大学生・大学院生	71	66.2%	14.1%	52.1%	33.8%	12.7%	9.9%	11.3%
専門学校生	4	2	1	1	2	0	0	2
専業主婦(夫)	10	40.0%	10.0%	30.0%	60.0%	30.0%	10.0%	20.0%
無職	23	34.8%	4.3%	30.4%	65.2%	13.0%	13.0%	39.1%
その他	3	3	1	2	0	0	0	0
年代とその他のクロス								
15～19歳								
男性	61	55.7%	13.1%	42.6%	44.3%	19.7%	8.2%	16.4%
女性	61	60.7%	11.5%	49.2%	39.3%	19.7%	4.9%	14.8%
20～25歳								
男性	46	39.1%	6.5%	32.6%	60.9%	17.4%	17.4%	26.1%
女性	47	51.1%	8.5%	42.6%	48.9%	12.8%	8.5%	27.7%
26～29歳								
男性	43	46.5%	14.0%	32.6%	53.5%	27.9%	7.0%	18.6%
女性	42	35.7%	11.9%	23.8%	64.3%	23.8%	16.7%	23.8%
15～19歳								
東京都	56	58.9%	8.9%	50.0%	41.1%	23.2%	5.4%	12.5%
福岡県	66	57.6%	15.2%	42.4%	42.4%	16.7%	7.6%	18.2%
20～25歳								
東京都	55	47.3%	1.8%	45.5%	52.7%	14.5%	10.9%	27.3%
福岡県	38	42.1%	15.8%	26.3%	57.9%	15.8%	15.8%	26.3%
26～29歳								
東京都	39	41.0%	17.9%	23.1%	59.0%	25.6%	7.7%	25.6%
福岡県	46	41.3%	8.7%	32.6%	58.7%	26.1%	15.2%	17.4%

IV. 調査結果：2. 17目標に対する関心

Q. SDGsの17の目標のうち、あなたはどの目標に関心がありますか。（回答は1～3つ）

- 【17目標に対する関心】については「貧困をなくそう」が最も多く（28.0%）、続いて「ジェンダー平等を実現しよう」（21.0%）、「すべての人に健康と福祉を」（18.0%）という結果となっている。

N=300



IV. 調査結果：2. 17目標に対する関心

Q. SDGsの17の目標のうち、あなたはどの目標に関心がありますか。（回答は1～3つ）

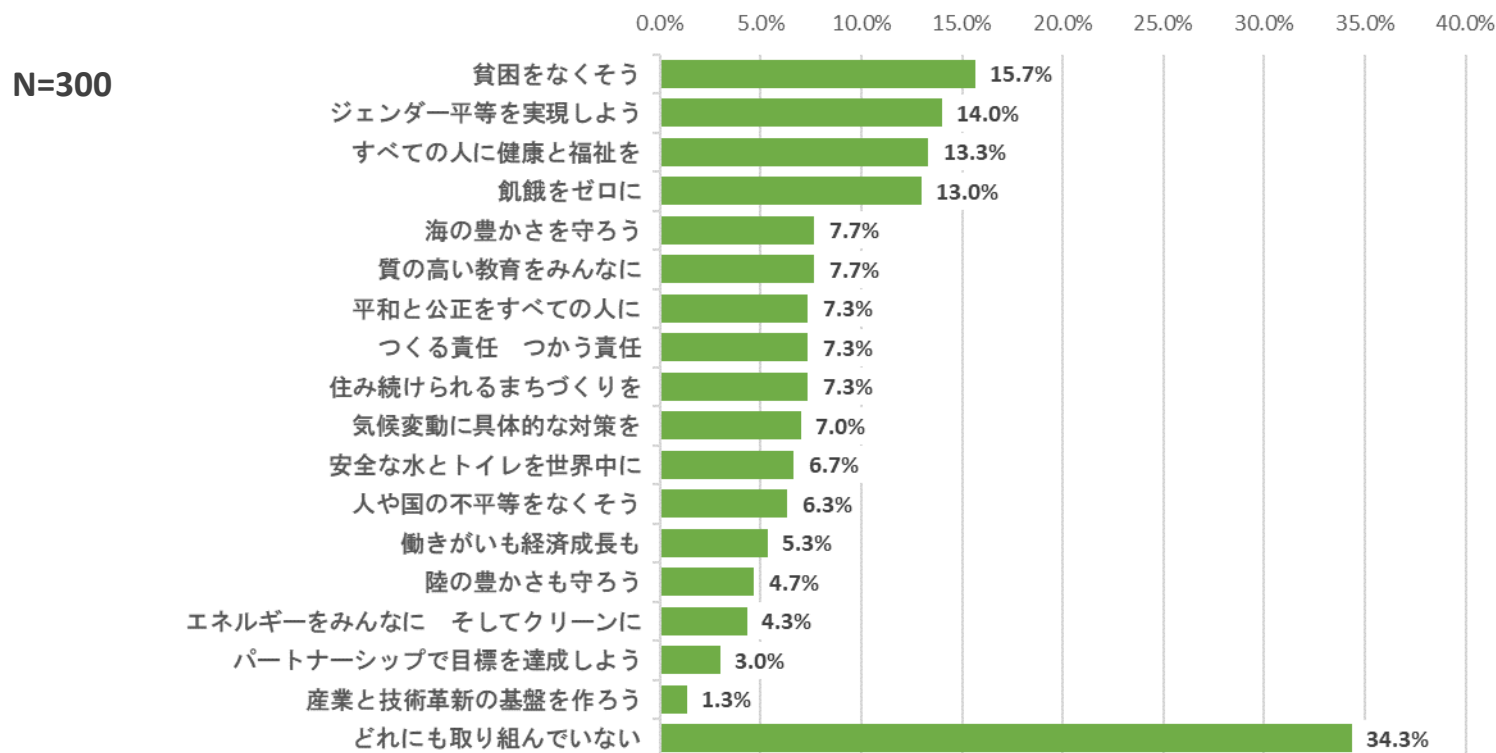
- 【17目標に対する関心】のZ世代に着目すると、全体と比較して「貧困をなくそう」と「ジェンダー平等を実現しよう」の2目標が5ポイント以上高いという結果になっている。
- Z世代の男女別に比較すると「貧困をなくそう」と「ジェンダー平等を実現しよう」、そして「平和と公正をすべての人に」は女性の方が関心度が高く、「人や国の不平等をなくそう」と「海の豊かさを守ろう」は男性の方が関心度は大きい。「ジェンダー平等を実現しよう」に関しては全体的にみても女性の方が関心があるようだ。
- Z世代の地域別に比較すると「貧困をなくそう」に関しては東京都も福岡県も関心は高いが、「質の高い教育をみんなに」や「ジェンダー平等を実現しよう」、「平和と公正をすべての人に」、「すべての人に健康と福祉を」に関しては福岡県の方が関心度が大きく上回っている。

		合計（n）	貧困をなくそう	ジェンダー平等を実現しよう	すべての人に健康と福祉を	飢餓をゼロに	平和と公正をすべての人に	質の高い教育をみんなに	人や国の不平等をなくそう	安全な水とトイレを世界中に	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	働きがいも経済成長も	住み続けられるまちづくりを	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	つくる責任 つかう責任	陸の豊かさでも守ろう	海の豊かさでも守ろう	パートナーシップで目標を達成しよう	産業と技術革新の基盤を作ろう	どれにも興味、関心がない
全体		300	28.0%	21.0%	18.0%	17.7%	12.7%	11.3%	11.3%	10.0%	8.7%	8.0%	6.3%	6.0%	5.7%	4.3%	3.3%	3.3%	3.3%	1.7%	21.7%
性別	男性	150	22.7%	11.3%	16.0%	18.7%	10.0%	12.0%	11.3%	10.0%	11.3%	8.0%	7.3%	2.7%	6.0%	3.3%	3.3%	0.7%	3.3%	27.3%	
	女性	150	33.3%	30.7%	20.0%	16.7%	15.3%	10.7%	11.3%	10.0%	6.0%	8.0%	5.3%	9.3%	5.3%	5.3%	3.3%	6.0%	0.0%	16.0%	
年代別	15～19歳	124	35.5%	28.2%	21.0%	20.2%	16.9%	14.5%	13.7%	10.5%	8.9%	11.3%	3.2%	4.8%	5.6%	7.3%	5.6%	0.8%	1.6%	13.7%	
	20～25歳	95	20.0%	18.9%	20.0%	20.0%	9.5%	11.6%	10.5%	14.7%	4.2%	1.1%	10.5%	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	25.3%	
	26～29歳	81	25.9%	12.3%	11.1%	11.1%	9.9%	6.2%	8.6%	3.7%	13.6%	11.1%	6.2%	9.9%	7.4%	4.9%	3.7%	3.7%	3.7%	29.6%	
地域別	東京都	150	28.0%	18.7%	10.7%	14.0%	9.3%	9.3%	8.7%	10.7%	11.3%	11.3%	7.3%	4.0%	6.0%	4.7%	5.3%	5.3%	2.0%	24.0%	
	福岡県	150	28.0%	23.3%	25.3%	21.3%	16.0%	13.3%	14.0%	9.3%	6.0%	4.7%	5.3%	8.0%	5.3%	4.0%	1.3%	1.3%	1.3%	19.3%	
年代とその他属性のクロス	15～19歳	男性	53	24.5%	18.9%	20.8%	20.8%	11.3%	15.1%	20.8%	9.4%	11.3%	15.1%	5.7%	3.8%	7.5%	5.7%	7.5%	0.0%	3.8%	13.2%
		女性	71	43.7%	35.2%	21.1%	19.7%	21.1%	14.1%	8.5%	11.3%	7.0%	8.5%	1.4%	5.6%	4.2%	8.5%	4.2%	1.4%	0.0%	14.1%
	20～25歳	男性	55	20.0%	9.1%	18.2%	20.0%	9.1%	12.7%	7.3%	12.7%	5.5%	1.8%	9.1%	1.8%	3.6%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	34.5%
		女性	40	20.0%	32.5%	22.5%	20.0%	10.0%	10.0%	15.0%	17.5%	2.5%	0.0%	12.5%	7.5%	5.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%
	26～29歳	男性	42	23.8%	4.8%	7.1%	14.3%	9.5%	7.1%	4.8%	7.1%	19.0%	7.1%	7.1%	2.4%	7.1%	4.8%	2.4%	0.0%	7.1%	35.7%
		女性	39	28.2%	20.5%	15.4%	7.7%	10.3%	5.1%	12.8%	0.0%	7.7%	15.4%	5.1%	17.9%	7.7%	5.1%	5.1%	7.7%	0.0%	23.1%
	15～19歳	東京都	61	36.1%	23.0%	9.8%	18.0%	9.8%	11.5%	9.8%	9.8%	9.8%	18.0%	4.9%	4.9%	4.9%	6.6%	11.5%	1.6%	3.3%	14.8%
		福岡県	63	34.9%	33.3%	31.7%	22.2%	23.8%	17.5%	17.5%	11.1%	7.9%	4.8%	1.6%	4.8%	6.3%	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%	12.7%
	20～25歳	東京都	46	13.0%	17.4%	19.6%	17.4%	10.9%	8.7%	8.7%	17.4%	6.5%	0.0%	10.9%	2.2%	4.3%	0.0%	0.0%	10.9%	0.0%	28.3%
		福岡県	49	26.5%	20.4%	20.4%	22.4%	8.2%	14.3%	12.2%	12.2%	2.0%	2.0%	10.2%	6.1%	4.1%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	22.4%
	26～29歳	東京都	43	32.6%	14.0%	2.3%	4.7%	7.0%	7.0%	7.0%	4.7%	18.6%	14.0%	7.0%	4.7%	9.3%	7.0%	2.3%	4.7%	2.3%	32.6%
		福岡県	38	18.4%	10.5%	21.1%	18.4%	13.2%	5.3%	10.5%	2.6%	7.9%	7.9%	5.3%	15.8%	5.3%	2.6%	5.3%	2.6%	5.3%	26.3%

IV. 調査結果：3. 17目標に対する取り組み

Q. SDGsの17の目標のうちあなたはどの目標について意識を持って取り組んでいる、または今後取り組みたいと思いますか。

- 【17目標に対する取り組み】に関しては、「貧困をなくそう」が最も多く（15.7%）、次いで「ジェンダー平等を実現しよう」（14.0%）、「すべての人に健康と福祉を」（13.3%）、「飢餓をゼロに」（13.0%）がいずれも1割台で上位となっている。「どれにも取り組んでいない」が34.3%と前問の「どれも興味、関心がない」より増加していることから、SDGsに対する関心はあっても行動に移せていない人が多いようだ。



IV. 調査結果：3. 17目標に対する取り組み

Q. SDGsの17の目標のうちあなたはどの目標について意識を持って取り組んでいる、または今後取り組みたいと思いますか。

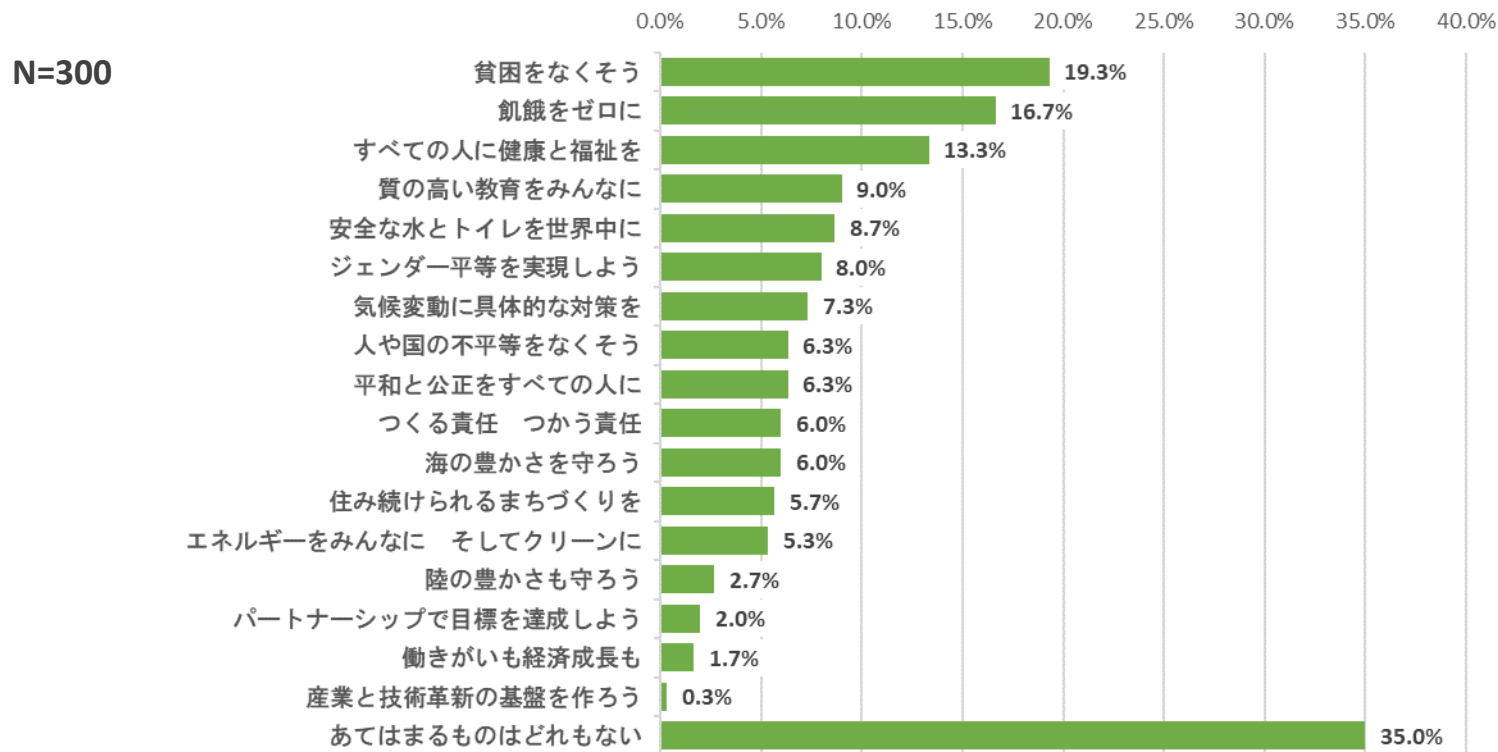
- 【17目標に対する取り組み】についてZ世代に着目すると、「つくる責任 つかう責任」が全体と比較して5ポイント以上、20代前半や、20代後半と比較すると10ポイント以上高くなっている。また、「どれにも取り組んでいない」は全体より10ポイント以上低いことから、Z世代の取り組み度の高さがうかがえる。
- Z世代の地域別に比較すると「ジェンダー平等を実現しよう」や「質の高い教育をみんなに」、「平和と公正をすべての人に」では、福岡県の取り組み度が高い。一方、「陸の豊かさも守ろう」、「飢餓をゼロに」に関しては東京都の方が上回っている。また、「ジェンダー平等を実現しよう」に関しては前問と同じくZ世代では女性の方が取り組み度は高い。

				貧困をなくそう	ジェンダー平等を実現しよう	すべての人に健康と福祉を	飢餓をゼロに	質の高い教育をみんなに	海の豊かさを守ろう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任　つかう責任	平和と公正をすべての人に	気候変動に具体的な対策を	安全な水とトイレを世界中に	人や国の不平等をなくそう	働きがいも経済成長も	陸の豊かさも守ろう	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	パートナーシップで目標を達成しよう	産業と技術革新の基盤を作ろう	どれも取り組んでいない
全体		300	15.7%	14.0%	13.3%	13.0%	7.7%	7.7%	7.7%	7.3%	7.3%	7.3%	7.0%	6.7%	6.3%	5.3%	4.7%	4.3%	3.0%	1.3%	34.3%
性別	男性	150	16.0%	9.3%	12.7%	14.7%	8.7%	6.7%	6.0%	6.0%	5.3%	6.7%	7.3%	2.7%	4.7%	4.0%	4.0%	2.0%	2.7%	40.0%	
	女性	150	15.3%	18.7%	14.0%	11.3%	6.7%	8.7%	8.7%	8.7%	9.3%	7.3%	6.0%	10.0%	6.0%	5.3%	4.7%	4.0%	0.0%	28.7%	
年代別	15～19歳	124	17.7%	18.5%	16.9%	16.1%	11.3%	9.7%	8.1%	13.7%	12.1%	8.1%	8.1%	8.1%	6.5%	8.1%	4.0%	2.4%	1.6%	21.0%	
	20～25歳	95	16.8%	11.6%	12.6%	13.7%	6.3%	4.2%	8.4%	3.2%	3.2%	2.1%	6.3%	6.3%	4.2%	2.1%	4.2%	3.2%	1.1%	43.2%	
	26～29歳	81	11.1%	9.9%	8.6%	7.4%	3.7%	8.6%	4.9%	2.5%	4.9%	11.1%	4.9%	3.7%	4.9%	2.5%	4.9%	3.7%	1.2%	44.4%	
地域別	東京都	150	14.7%	8.0%	12.0%	12.0%	3.3%	8.7%	6.0%	5.3%	4.7%	8.0%	7.3%	4.7%	5.3%	6.0%	4.0%	4.0%	0.7%	40.7%	
	福岡県	150	16.7%	20.0%	14.7%	14.0%	12.0%	6.7%	8.7%	9.3%	10.0%	6.0%	6.0%	8.0%	5.3%	3.3%	4.7%	2.0%	2.0%	28.0%	
年代とその他属性のクロス	15～19歳	男性	53	17.0%	7.5%	17.0%	13.2%	11.3%	11.3%	9.4%	13.2%	7.5%	9.4%	7.5%	5.7%	7.5%	9.4%	3.8%	3.8%	3.8%	26.4%
		女性	71	18.3%	26.8%	16.9%	18.3%	11.3%	8.5%	7.0%	14.1%	15.5%	7.0%	8.5%	9.9%	5.6%	7.0%	4.2%	1.4%	0.0%	16.9%
	20～25歳	男性	55	20.0%	9.1%	12.7%	18.2%	9.1%	0.0%	7.3%	3.6%	1.8%	3.6%	7.3%	1.8%	1.8%	0.0%	3.6%	0.0%	1.8%	49.1%
		女性	40	12.5%	15.0%	12.5%	7.5%	2.5%	10.0%	10.0%	2.5%	5.0%	0.0%	5.0%	12.5%	7.5%	5.0%	5.0%	7.5%	0.0%	35.0%
	26～29歳	男性	42	9.5%	11.9%	7.1%	11.9%	4.8%	9.5%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	4.8%	2.4%	4.8%	2.4%	2.4%	45.2%
		女性	39	12.8%	7.7%	10.3%	2.6%	2.6%	7.7%	10.3%	5.1%	2.6%	15.4%	2.6%	7.7%	5.1%	2.6%	5.1%	5.1%	0.0%	43.6%
	15～19歳	東京都	61	18.0%	9.8%	14.8%	19.7%	3.3%	11.5%	8.2%	11.5%	8.2%	8.2%	8.2%	6.6%	6.6%	11.5%	4.9%	1.6%	0.0%	24.6%
		福岡県	63	17.5%	27.0%	19.0%	12.7%	19.0%	7.9%	7.9%	15.9%	15.9%	7.9%	7.9%	9.5%	6.3%	4.8%	3.2%	3.2%	3.2%	17.5%
	20～25歳	東京都	46	13.0%	6.5%	15.2%	10.9%	4.3%	4.3%	6.5%	0.0%	2.2%	0.0%	6.5%	4.3%	6.5%	2.2%	2.2%	6.5%	0.0%	50.0%
		福岡県	49	20.4%	16.3%	10.2%	16.3%	8.2%	4.1%	10.2%	6.1%	4.1%	4.1%	6.1%	8.2%	2.0%	2.0%	6.1%	0.0%	2.0%	36.7%
	26～29歳	東京都	43	11.6%	7.0%	4.7%	2.3%	2.3%	9.3%	2.3%	2.3%	2.3%	16.3%	7.0%	2.3%	2.3%	2.3%	4.7%	4.7%	2.3%	53.5%
		福岡県	38	10.5%	13.2%	13.2%	13.2%	5.3%	7.9%	7.9%	2.6%	7.9%	5.3%	2.6%	5.3%	7.9%	2.6%	5.3%	2.6%	0.0%	34.2%

IV. 調査結果：4. 17目標に対する意識

Q. SDG'sの17の目標のうち、実際にお金を払って商品やサービスを買ってでも貢献したいと思えるテーマはどれですか。（回答は1～3つ）

- 【17目標に対する意識】に関しては「貧困をなくそう」が最も多く（19.3%）、その次に「飢餓をゼロに」（16.7%）、「すべての人に健康と福祉を」（13.3%）と続いている。



IV. 調査結果：4. 17目標に対する意識

Q. SDG'sの17の目標のうち、実際にお金を払って商品やサービスを買ってでも貢献したいと思えるテーマはどれですか。（回答は1～3つ）

- 【17目標に対する意識】についてZ世代に着目すると、「貧困をなくそう」や「飢餓をゼロに」に関してはお金を払ってでも貢献したいと思う人が多い。また、「あてはまるものはどれもない」を選択したZ世代は全体と比較して10ポイント低く、20代前半、20代後半と比較すると20ポイントほど低い。
- Z世代の男女別に比較すると、「貧困をなくそう」や「飢餓をゼロに」、「質の高い教育をみんなに」などは女性が多く「海の豊かさを守ろう」や「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」は男性が多い。

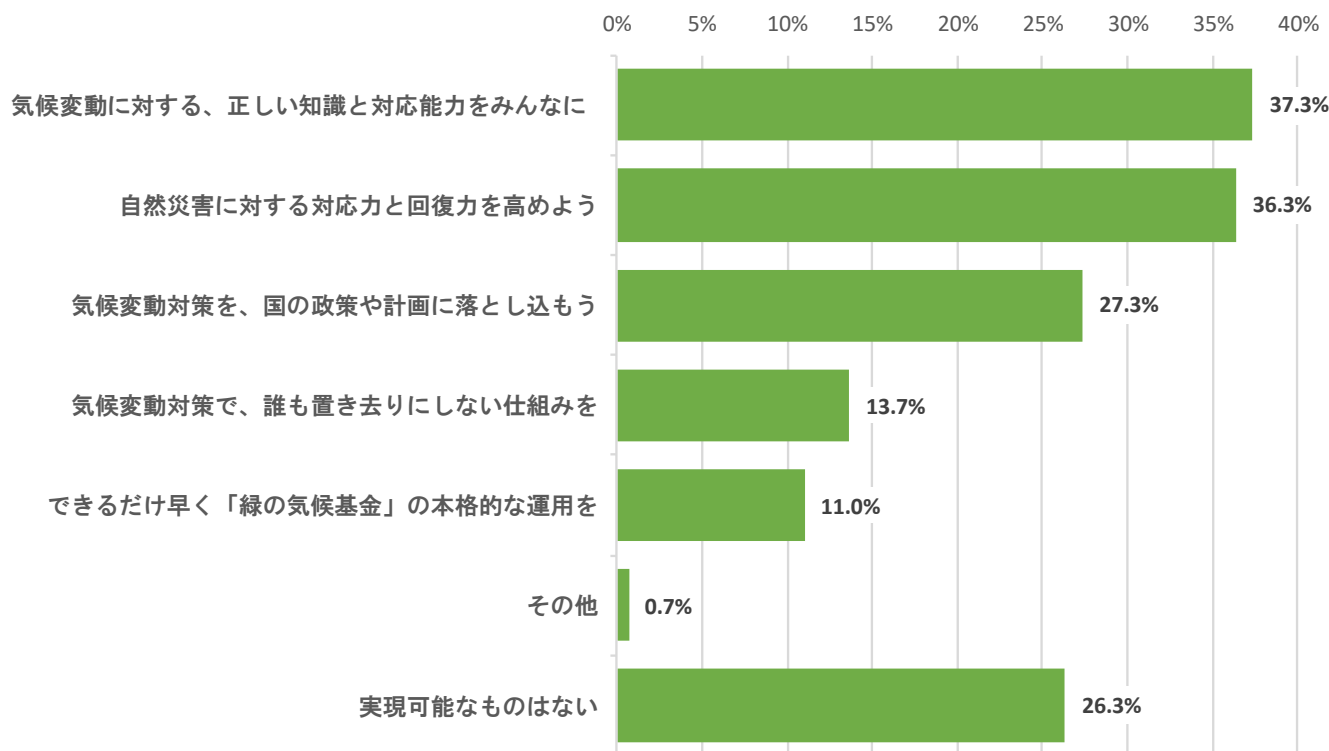
		合計（n）	貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	安全な水とトイレを世界中に	ジェンダー平等を実現しよう	気候変動に具体的な対策を	人や国の不平等をなくそう	平和と公正をすべての人に	つくる責任　つかう責任	海の豊かさを守ろう	住み続けられるまちづくりを	エネルギーをみんなに　そしてクリーンに	陸の豊かさでも守ろう	パートナーシップで目標を達成しよう	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤を作るう	あてはまるものはどれもない	
全体		300	19.3%	16.7%	13.3%	9.0%	8.7%	8.0%	7.3%	6.3%	6.3%	6.0%	6.0%	5.7%	5.3%	2.7%	2.0%	1.7%	0.3%	35.0%	
性別	男性	150	17.3%	13.3%	16.7%	8.0%	7.3%	4.7%	7.3%	5.3%	4.0%	5.3%	8.0%	4.7%	7.3%	3.3%	1.3%	2.0%	0.7%	40.0%	
	女性	150	21.3%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	11.3%	7.3%	7.3%	8.7%	6.7%	4.0%	6.7%	3.3%	2.0%	2.7%	1.3%	0.0%	30.0%	
年代別	15～19歳	124	29.0%	22.6%	16.1%	9.7%	8.9%	8.9%	8.1%	8.1%	9.7%	8.9%	8.1%	5.6%	4.8%	2.4%	0.0%	0.8%	0.0%	25.0%	
	20～25歳	95	11.6%	11.6%	12.6%	9.5%	9.5%	9.5%	4.2%	6.3%	3.2%	2.1%	2.1%	4.2%	5.3%	3.2%	3.2%	2.1%	1.1%	43.2%	
	26～29歳	81	13.6%	13.6%	9.9%	7.4%	7.4%	4.9%	9.9%	3.7%	4.9%	6.2%	7.4%	7.4%	6.2%	2.5%	3.7%	2.5%	0.0%	40.7%	
地域別	東京都	150	18.7%	15.3%	10.0%	6.7%	8.7%	4.7%	6.7%	6.0%	3.3%	7.3%	5.3%	0.7%	3.3%	3.3%	2.0%	1.3%	0.0%	42.7%	
	福岡県	150	20.0%	18.0%	16.7%	11.3%	8.7%	11.3%	8.0%	6.7%	9.3%	4.7%	6.7%	10.7%	7.3%	2.0%	2.0%	2.0%	0.7%	27.3%	
年代とその他属性のクロス	15～19歳	男性	53	22.6%	17.0%	26.4%	3.8%	7.5%	5.7%	7.5%	7.5%	5.7%	9.4%	13.2%	5.7%	11.3%	5.7%	0.0%	1.9%	0.0%	28.3%
		女性	71	33.8%	26.8%	8.5%	14.1%	9.9%	11.3%	8.5%	8.5%	12.7%	8.5%	4.2%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.5%
	20～25歳	男性	55	10.9%	9.1%	10.9%	10.9%	7.3%	7.3%	5.5%	7.3%	1.8%	3.6%	1.8%	3.6%	5.5%	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%	49.1%
		女性	40	12.5%	15.0%	15.0%	7.5%	12.5%	2.5%	5.0%	5.0%	0.0%	2.5%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	2.5%	0.0%	35.0%
	26～29歳	男性	42	19.0%	14.3%	11.9%	9.5%	7.1%	0.0%	9.5%	0.0%	4.8%	2.4%	9.5%	4.8%	2.4%	2.4%	2.4%	2.4%	0.0%	42.9%
		女性	39	7.7%	12.8%	7.7%	5.1%	7.7%	10.3%	10.3%	7.7%	5.1%	10.3%	5.1%	10.3%	7.7%	2.6%	5.1%	2.6%	0.0%	38.5%
	15～19歳	東京都	61	27.9%	21.3%	14.8%	8.2%	8.2%	3.3%	6.6%	9.8%	4.9%	9.8%	8.2%	1.6%	0.0%	3.3%	0.0%	1.6%	0.0%	26.2%
		福岡県	63	30.2%	23.8%	17.5%	11.1%	9.5%	14.3%	9.5%	6.3%	14.3%	7.9%	7.9%	9.5%	9.5%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	23.8%
	20～25歳	東京都	46	13.0%	10.9%	8.7%	4.3%	13.0%	8.7%	0.0%	4.3%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%	6.5%	2.2%	2.2%	2.2%	0.0%	54.3%
		福岡県	49	10.2%	12.2%	16.3%	14.3%	6.1%	10.2%	8.2%	8.2%	4.1%	2.0%	4.1%	8.2%	4.1%	4.1%	4.1%	2.0%	2.0%	32.7%
	26～29歳	東京都	43	11.6%	11.6%	4.7%	7.0%	4.7%	2.3%	14.0%	2.3%	2.3%	9.3%	7.0%	0.0%	4.7%	4.7%	4.7%	0.0%	0.0%	53.5%
		福岡県	38	15.8%	15.8%	15.8%	7.9%	10.5%	7.9%	5.3%	5.3%	7.9%	2.6%	7.9%	15.8%	7.9%	0.0%	2.6%	5.3%	0.0%	26.3%

IV . 調 査 結 果 ： 5 . 各ターゲットの実現可能性と活動主体について- 1

Q. 「気候変動に具体的な対策を」に属する諸目標（ターゲット）について実現可能性があると思うものはどれですか。（該当するものすべてを選択）

- 【気候変動に具体的な対策を-実現可能性のあるターゲット】については「気候変動に対する、正しい知識と対応能力をみんなに」（37.3%）、「自然災害に対する対応力と回復力を高めよう」（36.3%）の2項目が3割台で高くなっている。
- しかしながら、「実現可能なものはない」を選択した人も26.3%と四分の一を超える値となっている。

N=300



IV. 調査結果：5. 各ターゲットの実現可能性と活動主体について-1

Q. 「気候変動に具体的な対策を」に属する諸目標（ターゲット）について実現可能性があると思うものはどれですか。（該当するものすべてを選択）

- 【気候変動に具体的な対策を-実現可能性のあるターゲット】についてZ世代に着目すると、「実現可能なものはない」の数値がその他の20代前半、後半と比較して10ポイント以上低くなっている。
- Z世代の男女別に比較すると、「できるだけ早く『緑の気候基金』の本格的な運用を」では女性が10ポイント以上の差で高くなっている。
- Z世代の地域別に比較すると、「気候変動に対する、正しい知識と対応能力をみんなに」にて20ポイントほどの差で福岡県が高くなっている。

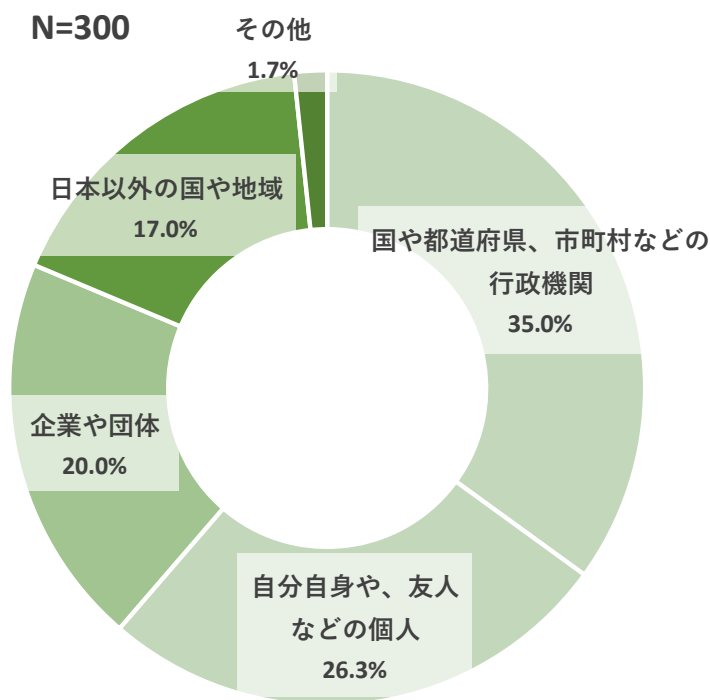
		合計（n）	正しい知識と対応能力をみんなに	回復力を高めよう	気候変動対策を、国の政策や計画に落とし込む	気候変動対策で、誰も置き去りにしない仕組みを	できるだけ早く「緑の気候基金」の本格的な運用を	その他	実現可能なものはない
全体		300	37.3%	36.3%	27.3%	13.7%	11.0%	0.7%	26.3%
性別	男性	150	36.7%	34.7%	31.3%	14.7%	8.7%	1.3%	26.7%
	女性	150	38.0%	38.0%	23.3%	12.7%	13.3%	0.0%	26.0%
年代別	15～19歳	122	38.5%	40.2%	27.9%	18.0%	10.7%	0.8%	18.9%
	20～25歳	93	33.3%	37.6%	30.1%	10.8%	15.1%	0.0%	31.2%
	26～29歳	85	40.0%	29.4%	23.5%	10.6%	7.1%	1.2%	31.8%
地域別	東京都	150	32.7%	31.3%	27.3%	18.0%	8.0%	1.3%	29.3%
	福岡県	150	42.0%	41.3%	27.3%	9.3%	14.0%	0.0%	23.3%
職業別	公務員	8	2	3	1	0	0	0	4
	会社員	88	38.6%	34.1%	28.4%	11.4%	9.1%	0.0%	28.4%
	会社役員・経営者・自営業・自由業	10	30.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%	20.0%
	パート・アルバイト	28	25.0%	14.3%	32.1%	10.7%	25.0%	0.0%	35.7%
	高校生・高専生	55	25.5%	43.6%	21.8%	20.0%	14.5%	0.0%	20.0%
	大学生・大学院生	71	46.5%	36.6%	38.0%	16.9%	11.3%	0.0%	18.3%
	専門学校生	4	2	2	0	0	0	0	1
	専業主婦（夫）	10	60.0%	80.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	20.0%
	無職	23	34.8%	26.1%	13.0%	4.3%	0.0%	0.0%	47.8%
	その他	3	3	2	1	3	1	1	0

		合計（n）	正しい知識と対応能力をみんなに	回復力を高めよう	気候変動対策を、国の政策や計画に落とし込む	気候変動対策で、誰も置き去りにしない仕組みを	できるだけ早く「緑の気候基金」の本格的な運用を	その他	実現可能なものはない
全体		300	37.3%	36.3%	27.3%	13.7%	11.0%	0.7%	26.3%
年代とその他属性のクロス	15～19歳 男性	61	37.7%	36.1%	31.1%	16.4%	4.9%	1.6%	19.7%
	15～19歳 女性	61	39.3%	44.3%	24.6%	19.7%	16.4%	0.0%	18.0%
	20～25歳 男性	46	34.8%	34.8%	34.8%	15.2%	15.2%	0.0%	34.8%
	20～25歳 女性	47	31.9%	40.4%	25.5%	6.4%	14.9%	0.0%	27.7%
	26～29歳 男性	43	37.2%	32.6%	27.9%	11.6%	7.0%	2.3%	27.9%
	26～29歳 女性	42	42.9%	26.2%	19.0%	9.5%	7.1%	0.0%	35.7%
	15～19歳 東京都	56	26.8%	35.7%	28.6%	26.8%	3.6%	1.8%	25.0%
	15～19歳 福岡県	66	48.5%	43.9%	27.3%	10.6%	16.7%	0.0%	13.6%
	20～25歳 東京都	55	36.4%	32.7%	25.5%	12.7%	14.5%	0.0%	32.7%
	20～25歳 福岡県	38	28.9%	44.7%	36.8%	7.9%	15.8%	0.0%	28.9%
	26～29歳 東京都	39	35.9%	23.1%	28.2%	12.8%	5.1%	2.6%	30.8%
	26～29歳 福岡県	46	43.5%	34.8%	19.6%	8.7%	8.7%	0.0%	32.6%

IV. 調査結果：5. 各ターゲットの実現可能性と活動主体について-1

Q. 「気候変動に具体的な対策を」を実現するために、最も率先して活動すべきなのは誰だと思いますか。（回答は1つ）

- 【気候変動に具体的な対策を-活動主体】については、「国や都道府県、市町村などの行政機関」と答えた人が最も多く（35.0%）、次いで「自分自身や友人などの個人」（26.3%）、「企業や団体」（20.0%）が続いている。
- Z世代で「企業や団体」と答えた人は20代前半、後半と比較して10ポイントほど低くなっている。
- Z世代を男女別に比較すると、「自分自身や、友人などの個人」と答えた人は男性より女性の方が10ポイントほど高い。



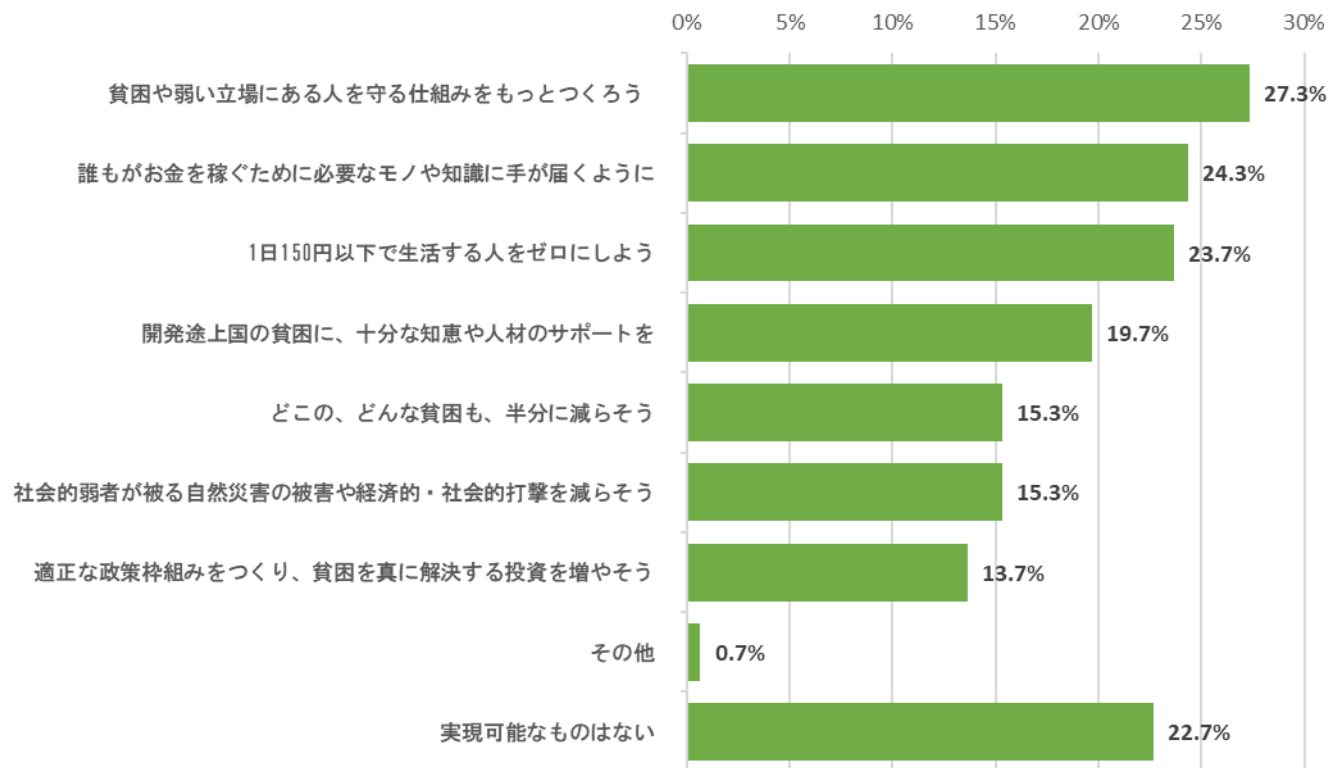
			合計（n）	国や都道府県、市町村などの行政機関	自分自身や、友人などの個人	企業や団体	日本以外の国や地域	その他
		全体	300	35.0%	26.3%	20.0%	17.0%	1.7%
性別	男性	150	34.0%	26.0%	21.3%	16.7%	2.0%	
	女性	150	36.0%	26.7%	18.7%	17.3%	1.3%	
年代別	15～19歳	122	36.9%	27.9%	13.9%	19.7%	1.6%	
	20～25歳	93	31.2%	26.9%	23.7%	16.1%	2.2%	
	26～29歳	85	36.5%	23.5%	24.7%	14.1%	1.2%	
地域別	東京都	150	34.0%	22.7%	21.3%	19.3%	2.7%	
	福岡県	150	36.0%	30.0%	18.7%	14.7%	0.7%	
職業別	公務員	8	1	0	5	2	0	
	会社員	88	34.1%	22.7%	25.0%	14.8%	3.4%	
	会社役員・経営者・自営業・自由業	10	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	
	パート・アルバイト	28	32.1%	21.4%	28.6%	17.9%	0.0%	
	高校生・高専生	55	34.5%	34.5%	14.5%	16.4%	0.0%	
	大学生・大学院生	71	35.2%	31.0%	15.5%	16.9%	1.4%	
	専門学生	4	0	3	0	0	1	
	専業主婦(夫)	10	60.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%	
	無職	23	39.1%	17.4%	8.7%	34.8%	0.0%	
	その他	3	2	0	1	0	0	
年代とその他属性のクロス	15～19歳	男性	61	42.6%	23.0%	13.1%	19.7%	1.6%
		女性	61	31.1%	32.8%	14.8%	19.7%	1.6%
	20～25歳	男性	46	26.1%	30.4%	23.9%	15.2%	4.3%
		女性	47	36.2%	23.4%	23.4%	17.0%	0.0%
	26～29歳	男性	43	30.2%	25.6%	30.2%	14.0%	0.0%
		女性	42	42.9%	21.4%	19.0%	14.3%	2.4%
	15～19歳	東京都	56	39.3%	25.0%	16.1%	16.1%	3.6%
		福岡県	66	34.8%	30.3%	12.1%	22.7%	0.0%
	20～25歳	東京都	55	25.5%	25.5%	29.1%	18.2%	1.8%
		福岡県	38	39.5%	28.9%	15.8%	13.2%	2.6%
	26～29歳	東京都	39	38.5%	15.4%	17.9%	25.6%	2.6%
		福岡県	46	34.8%	30.4%	30.4%	4.3%	0.0%

IV. 調査結果：5. 各ターゲットの実現可能性と活動主体について-2

Q. 「貧困をなくそう」に属する諸目標（ターゲット）について実現可能性があると思うものはどれですか。（該当するものすべてを選択）

- 【貧困をなくそう-実現可能性のあるターゲット】については「貧困や弱い立場にある人を守る仕組みをつくろう」（27.3%）、「誰もがお金を稼ぐために必要なモノや知識に手が届くように」（24.3%）、「1日150円以下で生活する人をゼロにしよう」（23.7%）の3項目が2割台で上位となっている。

N=300



IV. 調査結果：5. 各ターゲットの実現可能性と活動主体について-2

Q. 「貧困をなくそう」に属する諸目標（ターゲット）について実現可能性があると思うものはどれですか。（該当するものすべてを選択）

- 【貧困をなくそう-実現可能性のあるターゲット】についてZ世代に着目すると「1日150円以下で生活する人をゼロにしよう」、「開発途上国の貧困に、十分な知恵や人材のサポートを」、「どこの、どんな貧困も、半分に減らそう」のポイントが20代前半、後半と比較してやや高い。
- Z世代の男女別に着目すると、「貧困や弱い立場にある人を守る仕組みをもっとつくろう」では、男性よりも10ポイントほど女性が高くなっている。
- Z世代の地域別に着目すると、「貧困や弱い立場にある人を守る仕組みをもっとつくろう」、「どこの、どんな貧困も、半分に減らそう」では福岡県より東京都の方がポイントがやや高くなっている。

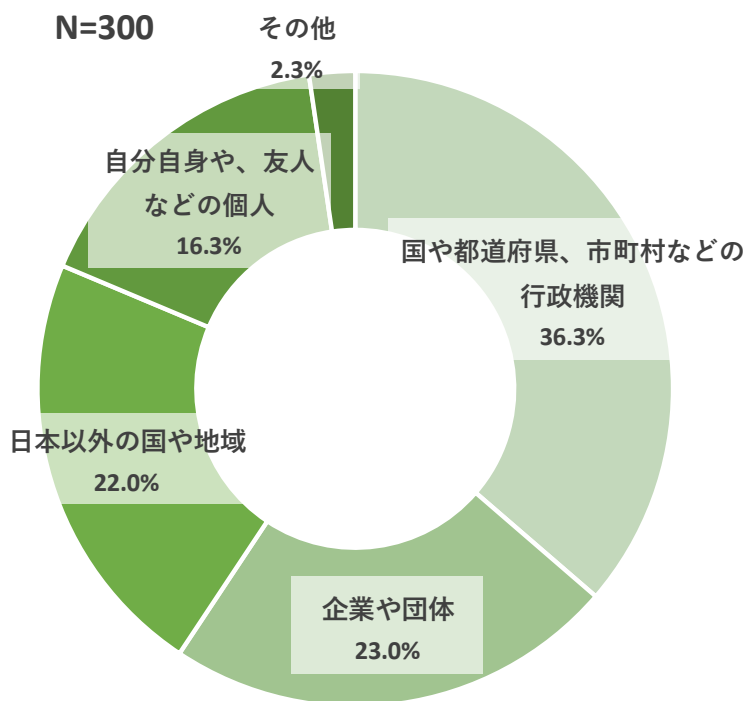
		合計（n）	守る仕組みをもっとつくろう	誰もお金を稼ぐために必要な知識に手が届くように	1日150円以下で生活する人をゼロにしよう	開発途上国の貧困に、十分な知恵や人材のサポートを	どこの、どんな貧困も、半分に減らそう	経済的・社会的弱者が被害を減らす	貧困を真に解決する投資を増やそう	通正な政策をつくり、貧困をなくそう	その他	実現可能なものはない
	全体	300	27.3%	24.3%	23.7%	19.7%	15.3%	15.3%	13.7%	0.7%	22.7%	
性別	男性	150	24.0%	20.0%	22.7%	19.3%	14.7%	16.7%	16.7%	0.0%	22.7%	
	女性	150	30.7%	28.7%	24.7%	20.0%	16.0%	14.0%	10.7%	1.3%	22.7%	
年代別	15～19歳	122	27.9%	28.7%	28.7%	23.8%	17.2%	15.6%	13.9%	0.0%	18.0%	
	20～25歳	93	24.7%	28.0%	19.4%	18.3%	14.0%	17.2%	16.1%	1.1%	25.8%	
	26～29歳	85	29.4%	14.1%	21.2%	15.3%	14.1%	12.9%	10.6%	1.2%	25.9%	
			16.7%	8.0%	12.0%	8.7%	8.0%	7.3%	6.0%	0.7%	14.7%	
地域別	東京都	150	25.3%	23.3%	23.3%	17.3%	18.7%	14.7%	15.3%	0.7%	23.3%	
	福岡県	150	25.3%	23.3%	23.3%	17.3%	18.7%	14.7%	15.3%	0.7%	23.3%	
職業別	公務員	8	2	2	2	2	1	2	1	0	2	
	会社役員・経営者・自営業・自由業	10	10.0%	10.0%	40.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	
	パート・アルバイト	28	28.6%	21.4%	14.3%	25.0%	21.4%	10.7%	7.1%	3.6%	35.7%	
	高校生・高専生	55	25.5%	21.8%	36.4%	18.2%	10.9%	16.4%	16.4%	0.0%	23.6%	
	大学生・大学院生	71	29.6%	35.2%	15.5%	29.6%	16.9%	19.7%	19.7%	0.0%	12.7%	
	専門学校生	4	1	1	1	1	0	0	1	0	1	
	専業主婦（夫）	10	40.0%	30.0%	10.0%	20.0%	20.0%	10.0%	20.0%	0.0%	30.0%	
	無職	23	8.7%	26.1%	30.4%	8.7%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	39.1%	
	その他	3	2	3	1	1	2	1	1	0	0	

		合計（n）	守る仕組みをもっとつくろう	誰もお金を稼ぐために必要な知識に手が届くように	1日150円以下で生活する人をゼロにしよう	開発途上国の貧困に、十分な知恵や人材のサポートを	どこの、どんな貧困も、半分に減らそう	経済的・社会的弱者が被害を減らす	貧困を真に解決する投資を増やそう	通正な政策をつくり、貧困をなくそう	その他	実現可能なものはない
	全体	300	27.3%	24.3%	23.7%	19.7%	15.3%	15.3%	13.7%	0.7%	22.7%	
年代とその他属性のクロス	15～19歳 男性	61	21.3%	23.0%	24.6%	19.7%	18.0%	18.0%	18.0%	0.0%	19.7%	
	15～19歳 女性	61	34.4%	34.4%	32.8%	27.9%	16.4%	13.1%	9.8%	0.0%	16.4%	
	20～25歳 男性	46	21.7%	26.1%	13.0%	21.7%	13.0%	19.6%	17.4%	0.0%	26.1%	
	20～25歳 女性	47	27.7%	29.8%	25.5%	14.9%	14.9%	14.9%	14.9%	2.1%	25.5%	
	26～29歳 男性	43	30.2%	9.3%	30.2%	16.3%	11.6%	11.6%	14.0%	0.0%	23.3%	
	26～29歳 女性	42	28.6%	19.0%	11.9%	14.3%	16.7%	14.3%	7.1%	2.4%	28.6%	
	15～19歳 東京都	56	32.1%	30.4%	28.6%	25.0%	21.4%	12.5%	17.9%	0.0%	17.9%	
	15～19歳 福岡県	66	24.2%	27.3%	28.8%	22.7%	13.6%	18.2%	10.6%	0.0%	18.2%	
20～25歳	東京都	55	20.0%	27.3%	20.0%	12.7%	10.9%	18.2%	12.7%	0.0%	27.3%	
	福岡県	38	31.6%	28.9%	18.4%	26.3%	18.4%	15.8%	21.1%	2.6%	23.7%	
26～29歳	東京都	39	23.1%	7.7%	20.5%	12.8%	25.6%	12.8%	15.4%	2.6%	25.6%	
	福岡県	46	34.8%	19.6%	21.7%	17.4%	4.3%	13.0%	6.5%	0.0%	26.1%	

IV. 調査結果：5. 各ターゲットの実現可能性と活動主体について-2

Q. 「貧困をなくそう」を実現するために、最も率先して活動すべきなのは誰だと思いますか。
(回答は1つ)

- 【貧困をなくそう-活動主体】については、「国や都道府県、市町村などの行政機関」と答えた人が最も多く（36.3%）、次いで「企業や団体」（23.0%）、「日本以外の国や地域」（22.0%）と続いており、行政機関が重要だと考える人が多い。
- Z世代の地域別に着目すると、「自分自身や友人などの個人」では東京都より福岡県の方がポイントが高い。



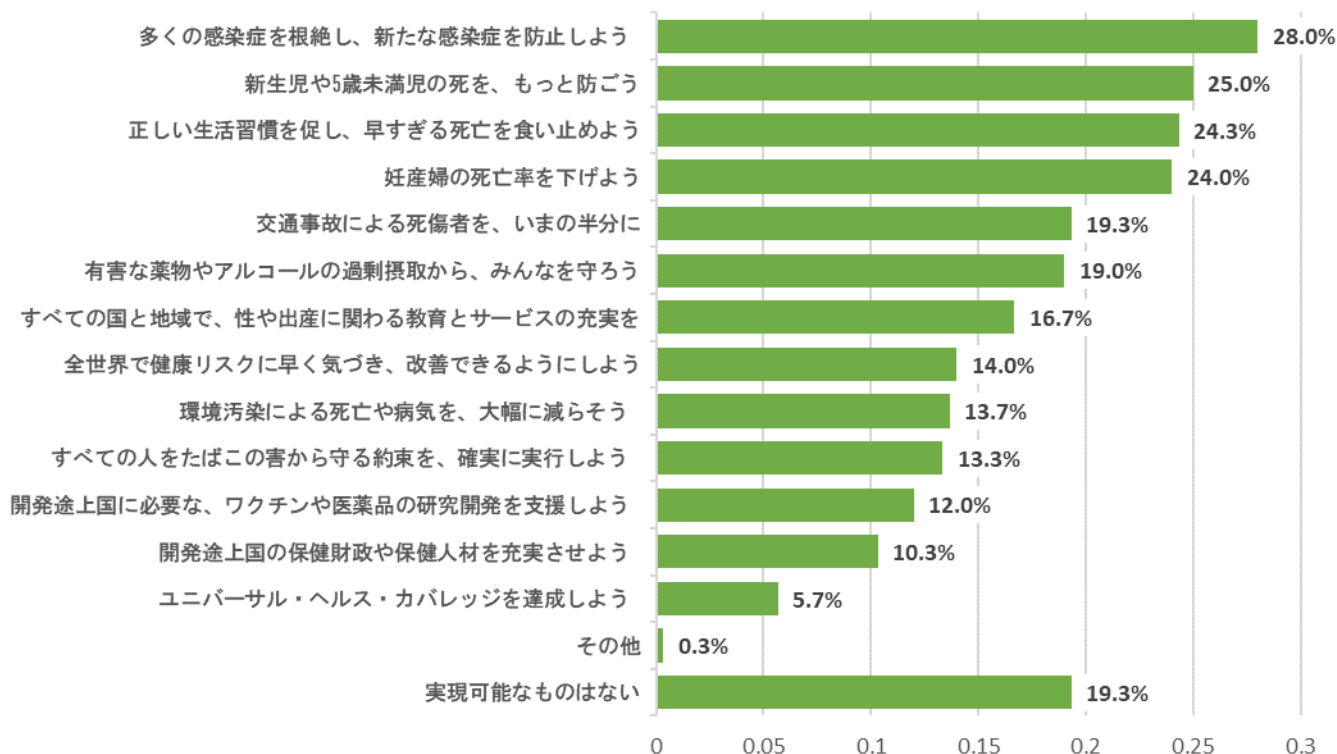
		合計 (n)	国や都道府県、 市町村などの行政 機関	企業 や団体	日本 以外 の国 や地 域	自 分 自 身 や、 友 人 な ど の 個 人	そ 他
性 別	全体	300	36.3%	23.0%	22.0%	16.3%	2.3%
	男性	150	33.3%	21.3%	24.7%	18.0%	2.7%
性 別	女性	150	39.3%	24.7%	19.3%	14.7%	2.0%
年 代 別	15～19歳	122	36.1%	21.3%	22.1%	18.9%	1.6%
	20～25歳	93	38.7%	23.7%	22.6%	11.8%	3.2%
	26～29歳	85	34.1%	24.7%	21.2%	17.6%	2.4%
	26～29歳	85	34.1%	24.7%	21.2%	17.6%	2.4%
地 域 別	東京都	150	35.3%	25.3%	23.3%	12.7%	3.3%
	福岡県	150	37.3%	20.7%	20.7%	20.0%	1.3%
職 業 別	公務員	8	2	3	3	0	0
	会社員	88	34.1%	30.7%	20.5%	11.4%	3.4%
	会社役員・経営者・自営業・自由業	10	40.0%	10.0%	30.0%	10.0%	10.0%
	パート・アルバイト	28	39.3%	21.4%	25.0%	10.7%	3.6%
	高校生・高専生	55	40.0%	20.0%	14.5%	25.5%	0.0%
	大学生・大学院生	71	36.6%	19.7%	23.9%	19.7%	0.0%
	専門学生	4	0	2	0	1	1
	専業主婦(夫)	10	60.0%	10.0%	0.0%	30.0%	0.0%
	無職	23	34.8%	13.0%	43.5%	8.7%	0.0%
	その他	3	0	1	0	1	1
	その他	3	0	1	0	1	1
年 代 と そ の 他 属 性 の ク ロ ス	15～19歳 男性	61	37.7%	19.7%	24.6%	16.4%	1.6%
	15～19歳 女性	61	34.4%	23.0%	19.7%	21.3%	1.6%
	20～25歳 男性	46	32.6%	19.6%	26.1%	17.4%	4.3%
	20～25歳 女性	47	44.7%	27.7%	19.1%	6.4%	2.1%
	26～29歳 男性	43	27.9%	25.6%	23.3%	20.9%	2.3%
	26～29歳 女性	42	40.5%	23.8%	19.0%	14.3%	2.4%
	15～19歳 東京都	56	37.5%	21.4%	23.2%	14.3%	3.6%
	15～19歳 福岡県	66	34.8%	21.2%	21.2%	22.7%	0.0%
	20～25歳 東京都	55	34.5%	34.5%	18.2%	10.9%	1.8%
	20～25歳 福岡県	38	44.7%	7.9%	28.9%	13.2%	5.3%
	26～29歳 東京都	39	33.3%	17.9%	30.8%	12.8%	5.1%
	26～29歳 福岡県	46	34.8%	30.4%	13.0%	21.7%	0.0%

IV. 調査結果：5. 各ターゲットの実現可能性と活動主体について-3

Q. 「すべての人に健康と福祉を」に属する諸目標（ターゲット）について実現可能性があると思うものはどれですか。（該当するものすべてを選択）

- 【すべての人に健康と福祉を-実現可能性のあるターゲット】については「多くの感染症を根絶し、新たな感染症を防止しよう」（28.0%）、「新生児や5歳未満児の死を、もっと防ごう」（25.0%）、「正しい生活習慣を促し、早すぎる死亡を食い止めよう」（24.3%）、「妊産婦の死亡率を下げよう」（24.0%）の順で続いている。「多くの感染症を根絶し、新たな感染症を防止しよう」というターゲットが実現可能性が最もあると考えられているのは、昨今の新型コロナウイルス感染症による社会の変化にも通じる部分があるのではないだろうか。

N=300



IV. 調査結果：5. 各ターゲットの実現可能性と活動主体について-3

Q. 「すべての人に健康と福祉を」に属する諸目標（ターゲット）について実現可能性があると思うものはどれですか。（該当するものすべてを選択）

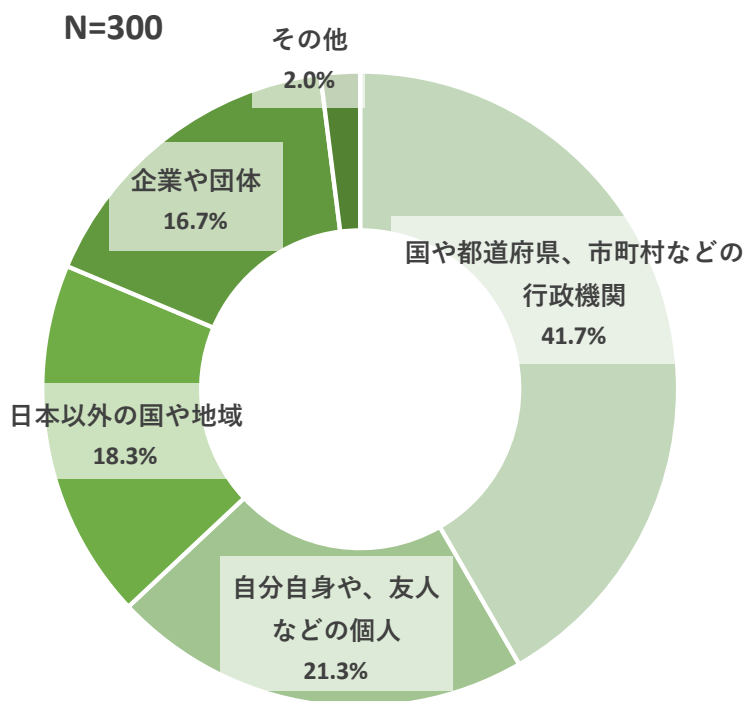
- 【すべての人に健康と福祉を-実現可能性のあるターゲット】についてZ世代に着目すると、ほとんどのターゲットにおいて20代前半、後半よりもそれぞれの実現可能性は高いという結果となっている。
- Z世代の性別、居住地別に着目すると「多くの感染症を根絶し、新たな感染症を防止しよう」、「新生児や5歳未満児の死をもっと防ごう」では、男性より女性、東京都より福岡県がよりこの項目について実現可能性が高いと考える人が多くなっている。

			合計（n）	新たな感染症を根絶し、 多くの感染症を防止しよう	多くの感染症を根絶し、 もつと防ごう	正しい生活習慣を促し、 早すぎる死亡を食い止めよう	妊産婦の死亡率を下げよう	交通事故による死傷者を、 いまの半分に	有害な薬物やアルコールの 過剰摂取から、みんなを守ろう	性や出産に関する教育とサ ービスの充実を	改善できるようにしよう	大規模に減らそう	すべての人をはじめこの書か ら守る約束を、 確実に実行しよう	開発途上国の保健財政や健 康人材を 充実させよう	ユニバーサル・ヘルス・カ バレッジを 達成しよう	その他	実現可能なものは ない
性別	全体	300	28.0%	25.0%	24.3%	24.0%	19.3%	19.0%	16.7%	14.0%	13.7%	13.3%	12.0%	10.3%	5.7%	0.3%	19.3%
	男性	150	26.7%	19.3%	24.7%	22.7%	14.7%	14.0%	13.3%	14.0%	13.3%	10.0%	10.7%	8.7%	6.0%	0.0%	22.0%
年代別	女性	150	29.3%	30.7%	24.0%	25.3%	24.0%	24.0%	20.0%	14.0%	14.0%	16.7%	13.3%	12.0%	5.3%	0.7%	16.7%
	15～19歳	122	28.7%	32.8%	32.0%	30.3%	23.8%	24.6%	23.0%	15.6%	20.5%	17.2%	17.2%	14.8%	7.4%	0.8%	14.8%
	20～25歳	93	26.9%	20.4%	19.4%	16.1%	14.0%	15.1%	11.8%	17.2%	8.6%	10.8%	6.5%	6.5%	5.4%	0.0%	24.7%
	26～29歳	85	28.2%	18.8%	18.8%	23.5%	18.8%	15.3%	12.9%	8.2%	9.4%	10.6%	10.6%	8.2%	3.5%	0.0%	20.0%
地域別	東京都	150	28.7%	22.7%	21.3%	23.3%	16.7%	17.3%	15.3%	14.7%	11.3%	10.7%	10.7%	10.0%	4.7%	0.0%	22.0%
	福岡県	150	27.3%	27.3%	27.3%	24.7%	22.0%	20.7%	18.0%	13.3%	16.0%	16.0%	13.3%	10.7%	6.7%	0.7%	16.7%
職業別	公務員	8	2	2	0	4	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	2
	会社員	88	34.1%	20.5%	17.0%	19.3%	15.9%	10.2%	9.1%	8.0%	6.8%	11.4%	6.8%	5.7%	3.4%	0.0%	17.0%
	会社役員・経営者・自営業・自由業	10	20.0%	30.0%	0.0%	30.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%
	パート・アルバイト	28	25.0%	17.9%	25.0%	14.3%	21.4%	21.4%	17.9%	10.7%	10.7%	10.7%	10.7%	7.1%	10.7%	0.0%	21.4%
	高校生・高専生	55	30.9%	30.9%	32.7%	32.7%	20.0%	20.0%	18.2%	16.4%	20.0%	14.5%	20.0%	14.5%	7.3%	1.8%	18.2%
	大学生・大学院生	71	26.8%	29.6%	32.4%	23.9%	18.3%	26.8%	19.7%	15.5%	18.3%	14.1%	16.9%	5.6%	0.0%	14.1%	14.1%
	専門学校生	4	0	0	1	0	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1
	専業主婦（夫）	10	30.0%	20.0%	40.0%	20.0%	40.0%	40.0%	10.0%	20.0%	20.0%	30.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	無職	23	13.0%	21.7%	8.7%	21.7%	17.4%	13.0%	21.7%	8.7%	13.0%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	0.0%	39.1%
	その他	3	1	2	3	2	3	2	1	2	3	2	2	1	2	0	0
年代とその属性のクロス	15～19歳	61	24.6%	24.6%	34.4%	24.6%	14.8%	16.4%	14.8%	16.4%	18.0%	11.5%	14.8%	11.5%	8.2%	0.0%	19.7%
	女性	61	32.8%	41.0%	29.5%	36.1%	32.8%	32.8%	31.1%	14.8%	23.0%	23.0%	19.7%	18.0%	6.6%	1.6%	9.8%
	20～25歳	46	21.7%	19.6%	19.6%	17.4%	13.0%	13.0%	10.9%	15.2%	10.9%	8.7%	6.5%	4.3%	6.5%	0.0%	28.3%
	女性	47	31.9%	21.3%	19.1%	14.9%	14.9%	17.0%	12.8%	19.1%	6.4%	12.8%	6.4%	8.5%	4.3%	0.0%	21.3%
	26～29歳	43	34.9%	11.6%	16.3%	25.6%	16.3%	11.6%	14.0%	9.3%	9.3%	9.3%	9.3%	2.3%	0.0%	18.6%	
	女性	42	21.4%	26.2%	21.4%	21.4%	21.4%	19.0%	11.9%	7.1%	9.5%	11.9%	11.9%	7.1%	4.8%	0.0%	21.4%
	15～19歳	56	25.0%	28.6%	28.6%	32.1%	25.0%	25.0%	23.2%	12.5%	16.1%	16.1%	16.1%	12.5%	7.1%	0.0%	17.9%
	福岡県	66	31.8%	36.4%	34.8%	28.8%	22.7%	24.2%	22.7%	18.2%	24.2%	18.2%	18.2%	16.7%	7.6%	1.5%	12.1%
	20～25歳	55	30.9%	21.8%	16.4%	18.2%	10.9%	10.9%	7.3%	18.2%	9.1%	9.1%	5.5%	7.3%	3.6%	0.0%	25.5%
	福岡県	38	21.1%	18.4%	23.7%	13.2%	18.4%	21.1%	18.4%	15.8%	7.9%	13.2%	7.9%	5.3%	7.9%	0.0%	23.7%
	26～29歳	39	30.8%	15.4%	17.9%	17.9%	12.8%	15.4%	15.4%	12.8%	7.7%	5.1%	10.3%	10.3%	2.6%	0.0%	23.1%
	福岡県	46	26.1%	21.7%	19.6%	28.3%	23.9%	15.2%	10.9%	4.3%	10.9%	15.2%	10.9%	6.5%	4.3%	0.0%	17.4%

IV. 調査結果：5. 各ターゲットの実現可能性と活動主体について-3

Q. 「すべての人に健康と福祉を」を実現するために、最も率先して活動すべきなのは誰だと思いますか。（回答は1つ）

- 【すべての人に健康と福祉を-活動主体】については、「国や都道府県、市町村などの行政機関」と答えた人が最も多く（41.7%）、次いで「自分自身や、友人などの個人」（21.3%）、「日本以外の国や地域」（18.3%）と続いている。
- Z世代の性別、居住地別に比較すると「自分自身や、友人などの個人」では男性より女性が15ポイントほど高く、「国や都道府県、市町村などの行政機関」では東京都より福岡県が10ポイントほど高いという結果になっている。



		合計 (n)	国や都道府県、市町村などの行政機関	自分自身や、友人などの個人	日本以外の国や地域	企業や団体	その他
全体		300	41.7%	21.3%	18.3%	16.7%	2.0%
性別	男性	150	39.3%	21.3%	18.7%	18.0%	2.7%
	女性	150	44.0%	21.3%	18.0%	15.3%	1.3%
年代別	15～19歳	122	38.5%	23.8%	20.5%	15.6%	1.6%
	20～25歳	93	45.2%	16.1%	17.2%	19.4%	2.2%
	26～29歳	85	42.4%	23.5%	16.5%	15.3%	2.4%
地域別	東京都	150	38.0%	18.7%	22.7%	17.3%	3.3%
	福岡県	150	45.3%	24.0%	14.0%	16.0%	0.7%
職業別	公務員	8	1	1	2	4	0
	会社員	88	37.5%	21.6%	18.2%	19.3%	3.4%
	会社役員・経営者・自営業・自由業	10	30.0%	20.0%	20.0%	20.0%	10.0%
	パート・アルバイト	28	57.1%	10.7%	7.1%	25.0%	0.0%
	高校生・高専生	55	47.3%	27.3%	10.9%	14.5%	0.0%
	大学生・大学院生	71	36.6%	25.4%	22.5%	15.5%	0.0%
	専門学校生	4	1	0	2	0	1
	専業主婦(夫)	10	40.0%	30.0%	10.0%	20.0%	0.0%
	無職	23	52.2%	8.7%	34.8%	4.3%	0.0%
	その他	3	0	1	1	0	1
年代とその他属性のクロス	15～19歳 男性	61	37.7%	19.7%	23.0%	18.0%	1.6%
	15～19歳 女性	61	39.3%	27.9%	18.0%	13.1%	1.6%
	20～25歳 男性	46	41.3%	15.2%	19.6%	19.6%	4.3%
	20～25歳 女性	47	48.9%	17.0%	14.9%	19.1%	0.0%
	26～29歳 男性	43	39.5%	30.2%	11.6%	16.3%	2.3%
	26～29歳 女性	42	45.2%	16.7%	21.4%	14.3%	2.4%
	15～19歳 東京都	56	32.1%	23.2%	21.4%	19.6%	3.6%
	15～19歳 福岡県	66	43.9%	24.2%	19.7%	12.1%	0.0%
	20～25歳 東京都	55	41.8%	12.7%	21.8%	21.8%	1.8%
	20～25歳 福岡県	38	50.0%	21.1%	10.5%	15.8%	2.6%
	26～29歳 東京都	39	41.0%	20.5%	25.6%	7.7%	5.1%
	26～29歳 福岡県	46	43.5%	26.1%	8.7%	21.7%	0.0%

V . 参 考

- 朝日新聞DIGITAL「SDG's169ターゲットアイコン日本版」,
[https : //www.asahi.com/ads/sdgs169/result/](https://www.asahi.com/ads/sdgs169/result/) (参照2021-07-29)
- ITmediaビジネスonline「超狭い住宅に申し込み殺到！
モノを持たない「ミレニアル世代」と「Z世代」がマーケティングを変える理由」,
<https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2107/30/news020.html>
(参照2021-08-24)

問い合わせ先

株式会社プリミティブ・ドライブ

〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目8-18 天神パークビル7F

TEL：092-735-1077

E-MAIL：info@primitive-drive.co.jp

データ公開

本レポートは、株式会社プリミティブ・ドライブのホームページから入手いただけます。

(株式会社プリミティブ・ドライブ ホームページ <http://www.primitive-drive.co.jp>)